



八重桜にも負けない満面の笑顔

〈応募者〉 みさきさん

〈撮影者〉 岩田 亜紀さん（フォトグラファー）

Contents

議決一覧表、陳情一覧表	P2～3
賛否の分かれた議案等	P4
一般質問（14人）	P5～12
常任委員会行政視察報告	P12～13
会派の活動報告	P14～15



令和6年第4回定例会 議決一覧表

議案等番号	件 名	議決日	議決結果
認定第 21 号	古河市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	6.12.17	承 認
認定第 22 号	令和6年度古河市一般会計補正予算（第5号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて	6.12.17	承 認
認定第 23 号	令和6年度古河市一般会計補正予算（第6号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて	6.12.17	承 認
議案第 112 号	古河市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	6.12.17	同 意
議案第 113 号	古河市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.12.17	同 意
議案第 114 号	古河市監査委員（識見を有する者）の選任につき同意を求めることについて	6.12.17	同 意
議案第 115 号	古河市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	6.12.17	同 意
議案第 116 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	6.12.24	原案可決
議案第 117 号	古河市開発行為、建築等に関する手数料条例の一部改正について	6.12.24	原案可決
議案第 118 号	古河市地域包括支援センターの運営及び職員の基準を定める条例及び古河市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	6.12.24	原案可決
議案第 119 号	古河市企業立地促進条例の一部改正について	6.12.24	原案可決
議案第 120 号	古河市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	6.12.24	原案可決
議案第 121 号	古河市立図書館の設置及び管理等に関する条例の一部改正について	6.12.24	原案可決
議案第 122 号	古河市地域交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	6.12.24	原案可決
議案第 123 号	古河市斎場の指定管理者の指定について	6.12.24	原案可決
議案第 124 号	古河市三和健康ふれあいスポーツセンター、古河市三和野球場及び古河市三和農村環境改善センターの指定管理者の指定について	6.12.24	原案可決
議案第 125 号	古河市コミュニティセンター出城の指定管理者の指定について	6.12.24	原案可決
議案第 126 号	古河スポーツ交流センターの指定管理者の指定について	6.12.24	原案可決

議案等番号	件 名	議決日	議決結果
議案第 127 号	市道の路線認定について	6.12.24	原案可決
議案第 128 号	和解及び損害賠償の額の決定について	6.12.24	原案可決
議案第 129 号	令和 6 年度古河市一般会計補正予算（第 7 号）	6.12.24	原案可決
議案第 130 号	令和 6 年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第 3 号）	6.12.24	原案可決
議案第 131 号	令和 6 年度古河市古河福祉の森診療所特別会計補正予算（第 2 号）	6.12.24	原案可決
議案第 132 号	令和 6 年度古河市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	6.12.24	原案可決
議案第 133 号	令和 6 年度古河市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第 3 号）	6.12.24	原案可決
議案第 134 号	令和 6 年度古河市古河駅東部土地区画整理事業特別会計補正予算（第 2 号）	6.12.24	原案可決
議案第 135 号	令和 6 年度古河市水道事業会計補正予算（第 2 号）	6.12.24	原案可決
議案第 136 号	令和 6 年度古河市下水道事業会計補正予算（第 2 号）	6.12.24	原案可決
議員提出 議案第 4 号	古河市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	6.12.24	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

陳情一覧表

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
令和 6 年 陳情第 5 号	家族同様と言われる犬猫たちの最後を“廃棄物扱い”とせず、命ある生き物としての扱いに名称変更を職務を果たさんとする市会議員に陳情とす。	総 務 常 任 委 員 会	不 採 択
令和 6 年 陳情第 7 号	国民のほとんどが知らぬ、身内の不幸を物体扱いと架す法律「死体埋火葬許可証」!! 故に故人の尊厳、御遺族への哀悼に寄り添う「御遺体納骨許可証」に名称変更請願を国に求める旨を市議会に陳情いたします。	文教厚生常任委員会	不 採 択
令和 6 年 陳情第 8 号	市内でのペットショップの犬猫達の命の売買の禁止	総 務 常 任 委 員 会	不 採 択
令和 6 年 陳情第 9 号	「古河市内公共交通における交通弱者への合理的配慮の確立と確かな実践を求める」陳情	総 務 常 任 委 員 会	採 択

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	政友会							古河市 公明党				市民ベース の会				真政会					無会派				
	佐藤 泉	小森 谷博之	鈴木 務	小林 登美子	印出 慎也	赤坂 育男	鈴木 隆	渡邊 澄夫	高橋 秀彰	佐藤 稔	鶴見 久美子	佐々木 英徳	増田 悟	落合 康之	阿久津 佳子	立川 徹	黒川 輝男	園部 増治	青木 和夫	稲葉 貴大	齊藤 由美子	関口 和男	古川 一美	秋庭 繁	
議案第 119 号			○			－		○			○				○				○				○	○	×
議案第 120 号			○			－		○			○				○				○				○	○	×
議案第 121 号			○			－		○			○				○				○				○	○	×
議案第 122 号			○			－		○			○				○				○				○	○	×
議案第 124 号			×			－	×	○			○			×		○			○				○	○	×
令和 6 年 陳情第 7 号			×			－		×			×		×	○		×			×				×	○	○
令和 6 年 陳情第 8 号			×			－		×			×			×					×				○	×	×

※議長は表決に加わらないため「—」と表示 ※令和6年12月24日（閉会時）の会派構成による

表紙をリニューアル

表紙写真を募集しています！

今号より、議会だよりの表紙をリニューアルしました。

表紙を見て興味を持ってもらえるよう、これまでよりも大きく写真を掲載し、強いイメージを持たれやすい「議会」を、身近で、親しみやすく感じてもらえるデザインにしています。

魅力あふれる古河市や、市民の方の表情を写した素敵な写真をお待ちしておりますので、ぜひご応募ください！
（※応募方法の詳細については、議会事務局までお問い合わせください。）

CD（DVD）を郵送または持参

応募用紙^{※1}に必要事項を記入の上、議会事務局まで郵送または持参してください。

※1 応募用紙は市HPよりダウンロードできます。

Eメールから申し込み

応募用紙に必要事項を記入の上、写真データ^{※2}と共に以下へ送付してください。

※2 受信の都合上、3MB以内でお願いします。

【送付先メールアドレス】 gikai@city.ibaraki-koga.lg.jp

応募フォームから申し込み

スマートフォンやパソコンからアクセスし、必要事項を入力の上、ご応募ください。

【応募フォーム】

<https://logoform.jp/form/WpUV/549184>



市 政 を 問 う

一 般 質 問

第4回定例会の一般質問は、12月20日、23日の2日間行われ、14人の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行機関に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。

議員名の右側にある2次元コードを読み取ると、録画映像をご視聴いただけます。



印出 慎也 議員



市長選挙公約について

問 今後4年間での市長選挙公約をどのように達成していくのか、針谷市長の見解を伺う。

答（市長） 実現に向けたロードマップを描き、住民ニーズを的確に反映した事業の実施に向け、進めていく。事業の見直し等も含め、行政運営の効率化に継続して取り組むとともに、国交付金等の財源を有効に活用し、健全な財政運営の下、時代変化に

対応した施策を展開していく。



職員の給与について

問 令和6年の人事院勧告において地域手当の見直しがあったことにより、古河市職員の地域手当は6%から4%に減少することとなった。職員の人材流出が懸念され、対応が必須であると考えているが、市の見解を伺う。

答（総務部長） 人材獲得競争が激しくなる中、市の中核を担う人材の流出や、公務を支える職員が質、量共に不足すると、市

民の安全と安心を守る行政サービスの維持が大変困難になる。安定した職員数の確保や若年層職員の人材流出を防ぐ観点から、現行の6%を維持していきたい。

ヨシダサッカーフィールド（古河市サッカー場）夜間照明について

問 市民から要望の多かった古河市サッカー場夜間照明整備について、今後どのように実施していくのか、市の見解を伺う。

答（教育部長） 照明の付設や、観客席等も含んだ大規模改修が見込まれ、費用が多額になると予想される。老朽化が進む全スポーツ施設の現状と課題を整理し、緊急性の高いものから優先順位を付け、整備していきたい。



小林 登美子 議員



古河市の地震災害への対策について

問 ①大地震発生時の対応策の活動内容、②有事に備え、今できる事として実施している訓練等はあるか、③災害時に備蓄品等の物資供給や、民間企業との協力体制について、以上を伺う。

答（総務部長兼危機管理監） ①人命救助を最優先に、自衛隊、消防、警察と連携しつつ、活動していく。②平成30年度以降、毎年継続して図上訓練を実施し

ている。③速やかな供給体制確立のため、民間物流の倉庫で災害対策用備蓄品を保管、管理を委託する方法で今後進めていく。

災害図上訓練 DIG (ディグ) の様子
(11月 古河第三中学校にて)

窓口業務委託について

問 ①サービス水準は維持できているのか、②市民満足度の向上はみられるのか、③安定的な人員確保はされているのか、④窓口職員の負担軽減はされたのか、⑤評価委員会等の設置について、⑥委託に対するメリット

について、以上を伺う。

答（市民部長） ①未だ基準を下回っているが、徐々に改善していることも確かである。②昨年度12月から1月にかけて、委託前に来庁者アンケートを行った。本年度も同時期に実施予定のため、この結果を一つの指標としたい。③受託業者がさまざまな手法により、人材確保に努めている。④職員アンケートの結果、「大幅に減った」、「少し減った」という回答が58%となり、負担軽減されていると考える。⑤設置する考えはない。⑥コストカットというより、民間事業者が有するスキル等を活用し、市民が質の高い窓口サービスを受けられることがメリットとなるよう、改善していきたい。



小森谷 博之 議員



まちづくりの推進について

問 令和7年に合併20周年を迎える。節目の年であり、その歩みを振り返り、未来へのビジョンを共有する良い機会であると考え。そこで、合併20周年事業の開催予定およびコンセプトについて、検討状況を伺う。

答（企画政策部長） 既存事業の拡充を含め、将来的に付加価値のある事業を考えており、イベントについても、古河市のレガ

シーとなるようなものを実施していく。検討状況については、15事業程度に絞り込んでいるが、引き続き精査している。花火大会等の既存事業やイベントには合併20周年記念の冠を付けてPRや周知を行い、合併20周年の機運の醸成を図っていく。

農業の振興について

問 流域治水において、水田が持つ雨水を貯める機能を利用し、大雨時に排水路への水の流出量を抑制する田んぼダムは有効な手段である。仕組みとしては、排水口に落水ますなどの器具を取り付け、排水量を抑制し、田んぼに降った雨水をゆっくりと排水するものである。そこで、落水ますの設置により洪水被害

を軽減する取り組みについての所見を伺う。

答（産業部長） 田んぼダムは低コストで簡易に設置できる有効な対策とされ、県内では令和6年6月現在、水戸市など6つの市町で実施されている。農林水産省の多面的機能支払交付金の活用や、県の補助金などを注視しつつ、洪水被害の軽減に効果的な対策を検討していきたい。





園部 増治 議員



市長選挙について

問 針谷市長は、11月の選挙戦を勝ち抜かれ、3選を果たされた。未来に誇れる古河市を創っていくための抱負について伺う。

答（市長） 教育・福祉の充実、都市基盤の充実および産業の育成の3つの重点政策に注力する。

未来産業用地開発事業について

問 東山田・谷貝地区と大堤地区

区の事業の進捗状況と周辺整備の考え方について伺う。

答（企画政策部長） 東山田・谷貝地区では、立地企業4社が開発行為の許可を得て、土地の造成工事に着手している。導水路の整備は、令和7年度の全面供用開始を目指し、工事している。大堤地区では、開発エリアの基礎調査業務を実施しながら、地権者協議会への説明や民間企業との対話を進めている。



工事が進む東山田・谷貝地区

大堤南部土地区画整理事業と南古河駅設置について

問 当該事業は、新駅設置を一つの目的として平成8年に都市計画が決定された。都市計画道路「大堤・横山線」の計画もある。6月の定例会で調査費を付けていただいたが、今後の取り組みについて市長の考えを伺う。

答（市長） 大堤南部地区については、北側集落地区の現道拡幅、下水道整備に鋭意取り組んでいる。今後も地域の特性を踏まえ、確実に進めていく。新駅設置とも関連しているため、歩調を合わせ、実例にあるようなスポーツによるまちづくりで、駅の利用客を増やすなどの手法を検証し、取り組んでいきたい。



立川 徹 議員



古河市のふるさと納税について

問 ①直近のふるさと納税で指定される返礼品の内訳について、②寄附者による苦情や要求などについて、③寄附額向上のため過去に取り組んだこと、今後の新たな取り組みについて伺う。

答（企画政策部長） ①令和5年度は、全体の約半分をHARIO株式会社の耐熱ガラス製品が占めている。②返礼品の破損等の連絡がある。必要に応じて交

換や、事業者へ注意喚起している。③事業者訪問により、登録事業者を増やし、返礼品の拡充を図ってきた。今後はポータルサイトの増加や、事業者間の協業促進などに取り組みたい。

防犯について

問 ①市内の闇バイトと思われる事件の有無について、②闇バイトの予防や対策としての活動について、③市の行政財産（庁舎、公園など）における金属窃盗の被害について、④金属窃盗の予防と対策について、⑤防犯対策における補助金、助成金などの活動支援について伺う。

答（総務部長兼危機管理監） ③本年度は古河公方公園など11

施設のほか、市内道路や橋梁などで被害を確認している。④職員による巡回や盗難多発の注意喚起看板の設置等を行っている。

答（市民部長） ①認知件数はゼロ件である。②ターゲットにされやすい若い世代へ、市公式LINEで注意喚起をした。警察では、パトロールや職務質問を強化し、啓発チラシの配布などに取り組んでいる。⑤市では補助金等の制度はないが、警察や防犯ボランティア団体と密に連携し、対策を講じていく。



防犯対策補助金制度事例（八王子市）



阿久津 佳子 議員



自治組織について

問 身近な自治組織で、価値観多様化による無気力・無責任・無関心がまん延する昨今、自治組織の活性化と立て直しが不可欠である。①目的、役割、活動について。②今後の在り方について。③地域担当職員制度の導入、自治組織に関する条例の制定について。④加速する超高齢多死社会や若者の行政・地域離れに伴う地域崩壊を防ぐべく地域活動やつながり、後世に残すべき

※自治組織…自治会、行政区や町内会等の自主組織の総称

ものの復活、世代を超えた継承、自治組織に積極的に参加できる風土の醸成や人材育成は必須である。特に、若い世代が地域で活躍できる場の創生が重要である。以上について、所見を伺う。

答（市長） ①住民同士の助け合いで住みよい地域社会の形成を目的とし、夏祭りや防災訓練等の交流により、地域の絆や支え合いを広げる。さらに、災害発生時に共助の力が発揮されることが重要である。④将来にわたり地域活動を持続させるには、若い世代への継承が重要である。懇談会等の場で、若者などへ自治組織について説明し、関心を持っていただけるよう努めたい。

答（市民部長） ②時代や地域の実情に合った活動内容の変化や、

組織維持が困難な場合は自主的な合併等の検討も有効と考える。③制度の導入については、過去に検討した経緯がある。条例の制定は、他自治体から情報収集し、研究していく。④地域住民が出会うきっかけづくりは必要のため、補助金の拡充でイベント等の支援をしている。自治会、行政区の役員の任期は地域により異なるが、交代した役員の参考となるようガイドブックを作成しており、継承を支援していきたい。



行政区の地域夏祭りの様子



増田 悟 議員



環境問題について

問 産業廃棄物不法投棄については令和4年12月にも質問した。その時の答弁は、行為者が判明している場合、県や警察と連携した指導や、投棄物を調査し対応しているなどであった。その後の実施状況と古河市全体の廃棄物の山は何カ所あるのか伺う。

答（市民部長） 議員が指摘する案件については、令和5年3月に改善命令が発出されたが、改

善の様子がないため、現在も立ち入りによる行政指導や、ドローンによる堆積量の計測をしている。市内で堆積行為を終了し放置されている場所は10カ所程度と把握しており、今後も関係機関と連携しながら早期対応を図り、安全、安心に暮らせるまちづくりを継続していきたい。



市の水道水の安全性は

問 発がん性が懸念される有機フッ素化合物P F A Sがメディアに取り上げられ、全国で検出

されている問題をめぐり、環境省と国土交通省は、1,745水道事業の2割から検出されたと調査結果を公表した。古河市のP F A Sによる状況を伺う。

答（上下水道部長） 有機フッ素化合物P F A Sは1万種以上あるとされ、P F O SとP F O Aが今回問題となっている物質である。水道水については、P F O S、P F O Aの合算値50ナノグラム・パー・リットル以下とする暫定目標値を定めており、市の水道水では思川浄水場から、10ナノグラム・パー・リットルが検出された。測定値が上昇した場合、有効とされる粉末活性炭処理で対応する。引き続きモニタリングを実施し、安全で安心な水の供給に努めていく。



佐々木 英徳 議員



避難所について

問 避難所の生活環境には、スフィア基準が重要である。この基準には、人道支援の考え方や最低限満たすべき基準、プライバシーの確保、避難所運営の目安が示されている。スフィア基準について所見を伺う。

答（総務部長兼危機管理監） スフィア基準の理念である、被災者は尊厳ある生活を営む権利を持っているという、避難所生活

を送る上で守られるべき環境が整備されることで、災害関連死の防止にもつながる。国より、この内容を盛り込んだ避難生活に関する指針が示されたので、市でも、その趣旨と目的に沿った避難所での生活環境に係る取り組みを進めていく。



空き家について

問 神戸市は、弁護士を含む9人の特命チームを編成し、空き家対策に取り組んでいる。この

チームは財産管理制度などを活用し、改善が見られない「危険空き家」や、所有者が不明、不在で状態が改善される見込みがない「所有者不明空き家」の早期改善を推進している。この取り組みについて所見を伺う。

答（都市建設部長） 神戸市の事例では、財産管理制度を集中的かつ効果的に活用することで、早期改善を進めている。現在市では、全国空き家アドバイザー協議会茨城県古河支部とともに、空き家の予防、利活用に取り組んでいるが、さらに増えることが予想される所有者不存在の空き家についても、今まで以上に対策していく必要がある。今後、庁内関係部署との連携強化も含めて検討していきたい。



羈見 久美子 議員



小学校健診に遺伝病検査導入について

問 遺伝病は遺伝情報を担う染色体や遺伝子の変化によって起きる。多くは両親から受け継がれ、家族間で伝わる可能性が高い。遺伝病の一つに血液中の悪玉コレステロール値が高くなる家族性高コレステロール血症があり、心筋梗塞などを発症する割合が、通常の10倍以上とされる。学校健診に血液検査を取り入れ早期発見、早期治療が重要である。所見と課題について

伺う。

答（教育部長） 家族性高コレステロール血症を含む、小児生活習慣病のリスクが高い児童生徒を早期発見できる点、保健指導を効果的に実施し、家庭でも生活習慣病を予防していく点で有用と考えている。市では、平成25年度から令和2年度まで小児生活習慣予防健診として、学校内で血液検査を実施していた。しかし、採血時に体調不良となる児童生徒が多く、取りやめた経緯があることから、血液検査への懸念が課題である。早期発見と管理により、リスクを大幅に低減できる病気のため、効果的な施策について国や県の動向を注視していきたい。

子宮頸がんワクチン接種について

問 子宮頸がんは早期に発見すれば治療がしやすく、予後が良いとされる。ワクチン接種の公費助成が延長され、対象者への周知や情報伝達について伺う。

答（健康推進部長） 個別通知のほか、医療機関や市内高等学校等へポスターやチラシの配布、公式LINEや広報など、さまざまな手段で情報発信してきた。今後も、接種希望者が機会を逃さないよう、周知していく。





高橋 秀彰 議員



重点支援地方交付金の活用について

問 重点支援地方交付金の活用は、市民ニーズを的確に捉え、物価高から市民生活を守る上で、どのような支援が一番効果があるのか、これまでの物価高騰対策の事例等も踏まえ、国の推奨メニューも参考に、実効性のある効果的な取り組みが必要と考えるが、所見を伺う。

答（市長） 市長就任3期目の重点政策として教育・福祉の充

実を掲げており、交付金は本年度に引き続き、令和7年度の小中学校給食費の無償化に活用していきたい。



古河市合併20周年について

問 合併20周年という節目の機会を捉え、市内外に向け、本市の魅力を広く情報発信する事業の推進が必要である。また、昨今の社会情勢に鑑み、コストを極力抑えながら、一方で大きな事業効果が得られる事業の推進

が必要と考えるが、所見を伺う。

答（市長） 一時的に盛り上がる事業を中心とせず、将来的に付加価値のある事業にしていきたい。特に、市民の誇りである市の歴史や文化を次世代につなぐ新たなイベントとして、経済効果も高いとされる将棋の第83期名人戦7番勝負の誘致に取り組んでいる。タイトル戦の中で最も歴史を有する名人戦を開催するにふさわしい都市として、一層の歴史文化の振興、経済の活性化を図る機会としたい。また、スポーツ振興を図るため、前回好評だった大相撲夏巡業古河場所の開催も考えている。合併20周年を契機として、これからの古河市を見据えた事業に積極的に取り組んでいきたい。



佐藤 稔 議員



「清水丘親水公園ウッドデッキ」の老朽化対策について

問 公園散策用に設置されたウッドデッキの老朽化について、利用者より修繕要望があるが、その後の市の対応について伺う。

答（都市建設部長） 現在、デッキの外側を柵で覆い、立入禁止の注意喚起をしている。全体の改修には大規模な予算確保が必要なため、維持管理等も含め引き続き予算計上を行っていく。民間の力を借りるなど公園の利

活用について検討し、安心して利用できるよう努める。



清水丘親水公園

「災害時のペット同行避難ガイドライン」の作成について

問 ペットとの同行避難における、飼い主の行動や自治体の支援等を解説した古河市版「同行避難ガイドライン」の作成が必要と考えるが、市の考えを伺う。

答（総務部長兼危機管理監） 古河市は特に浸水想定区域が広大で、長距離避難を余儀なくされる場合がある。ペット同行避難

も特段の準備が必要となるため、先行自治体の例を参考にし、市の特性を十分に加味したガイドラインを検討していく。

「気象防災アドバイザー」の採用について

問 利根川や渡良瀬川などの水害から市民を守るためには、気象の専門家である「気象防災アドバイザー」の採用が必要と考えるが、市の考えを伺う。

答（市長） 水害から逃げ遅れを防ぐには、早期の判断が必要である。現在は、インターネット等で情報収集しているが、気象防災アドバイザーの任用は、より早期で正確な予測を行う上で有用である。費用等の課題があるが、検討していきたい。



秋庭 繁 議員



3期目に臨む市政運営について

問 ①給食費無償化と、市外通学者への補助を継続するのか。地場産野菜の使用状況、食物アレルギー支援および有機野菜の使用についても伺う。②11月に開催した、(仮称)古河市新公会堂建設の市民委員会を非公開とした理由は。候補地や建設会社も決まっていると疑問の声がある。情報公開すべきである。

答 (企画政策部長) ②11月5日

※県条例…「茨城県再生資源物の屋外保管の適正化に関する条例」のこと

の第8回市民委員会については、第7回開催時点で次の日程が未定であった。今後は、開催日時が決まり次第、改めて周知する。建設候補地ごとの比較資料を次回の委員会で示し、候補地を選定していく。情報提供の一環として、パネル展や市民説明会を実施し、意見を募っていききたい。

答 (教育部長) ①令和7年度以降も継続し、食物アレルギー支援も引き続き行う。地場産物の活用状況は、令和3年度68.5%、令和4年度66.7%、令和5年度55.0%である。有機野菜の導入については、研究課題としている。



市民生活を脅かすヤードの騒音・振動について

問 ①県条例^(※)施行に伴う市内事業者の届出数、②県条例の目的、許可制について、③県条例第7条第1項第2号エの生活環境の保全を目的とする法令とは何か。

答 (市民部長) ①令和6年12月現在、18カ所である。②崩落等の事故防止や、生活環境の保全を図り、敷地面積100平方メートルを超える事業場に、県知事の許可取得を義務付けている。③騒音規制法、振動規制法等の全9法令が規定されている。

《その他の質問》

・コストカット型市政の転換について



関口 和男 議員

旧優生保護法^(※)について

問 ①被害者救済法の概要について、②市民から被害の訴えや問い合わせ等があったか。広報や市のホームページ等で情報提供すべきと考えるが、市の対応について、③市長の所見について伺う。

答 (市長) ③被害を受けた方が早期に救済されるよう、国や県に全面的に協力していく。誰もが互いに尊重し合える社会の実

現に向け、取り組んでいきたい。

答 (福祉部長) ①被害を受けられた方に対する補償金等の支給に関する法律で、10月8日に成立した。優生手術を受けた本人に1,500万円、配偶者に500万円支給される。②現在までに相談等はなかった。今後は、広報等も活用し情報提供をしていく。

中学、高校受験について

問 ①他県で学校側のミスにより生徒3人が高校受験できなかった概要について、②県で起きた高校入試に伴う調査書の入力ミスが見つかった概要について、③本市におけるトラブル等の有無、また、ミスの無いようなどのような対策をしているか。

答 (教育長) ③校長会にて、出願ミス等がないよう全校体制で当たるよう指示している。また、各校に調査書作成委員会を設け、適正な処理を徹底している。

答 (教育部長) ①私立中学校の職員が公立高校の入学願書を期限内に提出せずに起きた。②牛久市立の中学生が受験校に調査書の開示請求をしたところ、誤記載が見つかった。原因は該当中学校の入力確認ミスだった。③学校のミスで受験できなかった事例、調査書の誤記載が判明した事例は共にない。



※旧優生保護法…遺伝性疾患や知的障がい、精神障がいなどがある人に対し、本人の同意なく不妊手術をすることを認める法律



古川 一美 議員



学校給食の充実について

問 食品添加物や農薬の安全性への関心は高い。①食材の品質確保は十分か。②有機野菜を取り入れる考えはあるか。③食育として児童生徒に感謝の心を育てて欲しい。所見を伺う。

答（教育長） ③健全な成長に重要であり、豊かな心を育むため、食育を積極的に推進していく。

答（教育部長） ①産地の確認や試食による品質チェックを行い、

※ウォーカブルなまちづくり…国土交通省が推進している「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりのこと

信頼できる業者を選定している。
②先進事例を参考に研究したい。

ウォーカブルなまちづくりについて

問 大堤地区に新たなにぎわい創出の計画がある。商業施設の誘致だけでなく、市民が憩える居心地の良いまちづくりをすることを意見する。所見を伺う。



「居心地が良く歩きたくなるまちなか」のイメージ
(出典元：国土交通省HP)

答（市長） 市内回遊性を高め、滞在時間延長を目指すことは、ウォーカブルなまちづくりと共

通するものがある。今後の構想で、議員提案の視点を積極的に活用し、調査検討していきたい。

マイナ保険証への移行について

問 ①市民の登録率と利用率は。②全国の登録解除申請が約1カ月で13,000件以上ある。情報漏えいの不安などは解消されていない。国に提言しているか。

答（市長） ②個人情報の利活用に関し、国民の理解が得られるよう丁寧な説明をし、適切な措置を講ずるよう要望している。

答（健康福祉部長） ①令和6年10月現在、登録率は国保62.5%、後期高齢者医療63.8%。利用率は国保21.3%、後期高齢者医療16.3%である。

総務常任委員会 行政視察報告

視察日 令和6年10月8日から10月10日

視察地および調査事項

- ・愛知県蒲郡市 メタバースやweb3を活用したコミュニティ形成事業について
- ・滋賀県草津市 消防団について

当委員会では、愛知県蒲郡市、滋賀県草津市を訪問した。

蒲郡市では、メタバースやweb3を活用したコミュニティ形成事業の取り組みを、蒲郡市学習者デジタルコミュニティ推進協議会がスタートアップ事業として取り組んでおり、大変感銘を受けた。既存概念にとらわれない新たな試みを、市と企業が一体となる取り組みは、大変参考となるものであった。

草津市では、2015年から外国人を消防団員に任命し消防団の担い手の確保に取り組んでいる。文化の違いなど課題が多々あ

るが、地域に貢献されていることが確認できた。また、企業から消防団員に登録すると、入札時の加点要素となるようにした試みは、大変有効であると感じた。



行政視察（蒲郡市役所）

文教厚生常任委員会 行政視察報告

視察日 令和6年10月29日から10月31日

視察地および調査事項

- ・愛知県瀬戸市 子どもの権利条例について
- ・岐阜県岐阜市 岐阜市子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”について

当委員会では、愛知県瀬戸市、岐阜県岐阜市を訪問した。

瀬戸市では、「こどもにやさしいまち」を目指し、子どもの最善の利益を基本理念とした、子どもの権利条例を制定した。子ども・若者が主体の「子ども・若者会議」を開催し、意見交換を行うなど、子どもたちの意見を最優先に取り入れた条例である。

岐阜市のエールぎふでは、0歳児から20歳前までのあらゆる悩みなどに対し、継続的な支援が受けられるよう、建物を発達段階や支援の特徴など機能別にフロアを分ける配慮があり、複雑化する問題に対し

て支援を行っていた。

瀬戸市と岐阜市の成功事例は、本市においてもぜひ参考にしたい事例であり、非常に価値ある視察となった。



行政視察（瀬戸市役所）

産業建設常任委員会 行政視察報告

視察日 令和6年10月28日から10月30日

視察地および調査事項

- ・鳥取県鳥取市 ワークেশョンの取り組みについて
- ・鳥取県倉吉市 レトロ&クールツーリズム、周遊滞在型観光の取り組みについて

行政視察は、鳥取県鳥取市、鳥取県倉吉市へ訪問した。

鳥取市では、中心市街地において、民間主導の官民連携体制により、民間まちづくり会社が、民間自立型でのリノベーション手法による遊休不動産を利活用し、魅力向上と若年層の居住促進を進めていた。

倉吉市では、世界的なフィギュア製造メーカーである株式会社グッドスマイルカンパニーの日本初の工場誘致から、連携を図ったまちづくりがスタートし、廃校となっていた小学校円形校舎をフィギュアの大展示施設として活用し、観光資源にしていた。

視察を通じ、協力してくれるパートナーとなる民間企業への呼び掛けから選定、お互いが成長し合える運営が必要だと確信した。



行政視察（鳥取市 議場）

～ 会派の活動を報告します ～

政 友 会

12月27日、未来産業用地「東山田・谷貝地区」の進捗状況を視察しました。本事業に関して、政友会では早期から着目し、令和2年12月、茨城県営業戦略部立地整備課より2人を古河庁舎にお招きし、未来産業基盤強化プロジェクトについて研修を行っております。令和4年4月の全員協議会において発表された、未来産業用地「東山田・谷貝地区」20ヘクタールの土地については、地権者説明会および地権者協議会が立ち上がり、4企業と土地の売買が完了し、造成工事が着実に

進行しています。さらに北側に9.5ヘクタールが延長となりました。新たな雇用の創出を図り、若い世代の移住定住の促進を期待します。

同日、古河公方公園内にある「古河市教育支援センターはなももルームこが」を視察しました。古河市教育支援センターは、市内3カ所に設置され、いじめなどの悩みを持った生徒たちが自由に通える場所です。現在は小中学生合わせて34人が利用し、みんなで給食を食べたり、学習や運動を行っています。令和7年度に、政友会において予算要望しておりました、全中学校への相談員の配置が決定しております。引き続き政友

会は勉強会等により研さんを積み、そして市民の皆さまの要望を市政へ伝えてまいります。



「東山田・谷貝地区」の視察



「古河市教育支援センターはなももルームこが」の視察

古河市公明党

古河市公明党は令和6年12月23日、「令和7年度予算編成に関する政策要望書（予算要望書）」を、針谷市長へ提出しました。この「予算要望書」は、日頃の議員活動の中で、市民の皆さまから頂いたご意見やご要望をはじめ、会派内の各議員が行ってきた議会質問や調査・研究から培った政策提案を取りまとめたものです。令和7年度の予算編成に当たっては、「行財政改革・防災・減災・高齢者福祉・障がい者福祉・健康増進・子育て・環境・産業振興・教育など」各分野における重要施策

45項目について要望いたしました。具体的な政策として、①高齢化の進展を鑑み、公共施設の「バリアフリー化」を継続的に推進すること。②車道への「自転車通行レーン」の設置を推進すること。③「認知行動療法」の研究と普及を推進すること。④保育施設周辺での交通事故を防止するため、キッズゾーン・キッズガード等の整備を進めること。⑤生活困窮家庭等の児童生徒への「学習支援体制の構築」を図ること。⑥特別支援教育については、支援員を増強し、支援の充実を図ること。⑦離農者や就農希望者について、農業参画希望者が利用しやすい体制整備を推進すること。⑧豪

雨等の冠水地域については、引き続きさらなる整備の推進を図ること等。

古河市公明党は、生活者の視点から「支え合う街づくり」、「安心して暮らせる温かな街づくり」を目指し、適正な予算編成と執行により、当会派からの要望が市政に反映されるよう、これからも全力で取り組んでまいります。



～ 会派の活動を報告します ～

市民ベースの会

当市が直面する「可燃ごみ有料化」について、愛知県瀬戸市（令和5年9月より燃えるごみ・燃えないごみ、共に有料化実施。ごみ処理手数料が含まれている販売価格、令和5年6月「ごみ袋の価格値上げ凍結・価格据え置き」の条例改正案可決。）を1月27日に会派で視察しました。

視察内容は、有料化の実施経緯、価格やごみ袋の容量設定（ごみ袋の原価、諸手数料等）、市民への周知方法と反応、有料化後の市民の行動変容、清掃ボランティアや福祉対策・配慮、家

庭系ごみ排出目標数値設定等の有料化全体における課題を事前質問という形で伝え、詳細に渡り丁寧な説明と、質問に対する回答やノウハウをご教示いただきました。

特に学ぶべき点は、全国自治体が抱える課題は同様ではあるものの、環境省循環型社会形成推進基本計画に示されている「1日1人当たりの家庭系ごみ排出量の目標440グラム」に近づける施策、ごみ処理施設の老朽化や今後見込まれる処理費用の増加等の課題に、市民目線で「市長自ら立ち止まり、ごみの推移を見つつ、オール瀬戸で今後のごみの減量の在り方をしっかりと考え実行していく」

という市長の姿勢であります。当市はSDGs未来都市としてゼロカーボンシティの目標があります。それ故に、可燃ごみの減量化とプラスチック分別の正しい見識と行動、そして、市民の理解が得られる事業の推進が必要です。そのために、当会派は先進事例の研究をさらに進め、知恵を絞り、住民自治の実践を行っていきたいと思います。



真政会

10月17日～18日、姫路市の「アクリエひめじ」で開催された、第86回全国都市問題会議に参加しました。

今回のテーマは、「健康づくりとまちづくり～市民の一生に寄り添う都市政策～」でした。

基調講演を行った生物学者で青山学院大学教授の福岡伸一氏によると、生命体は自らを積極的に壊し続け、またそれを作り直すことでバランスを保っています。これを動的平衡と呼び、まちづくりも同様にプラスチックやコンクリート塊などが壊されることを予定し、つくること

が必要であると述べられました。

主報告は姫路市長の清元秀泰氏がされました。姫路市は面積534平方キロメートル、人口は約52万人の中核都市です。人生100年時代の到来に向け、健康づくりの重要性を感じ、介護予防、ウォーカブルなまちづくり、ICTの活用、未来を担う子どもたちの健やかな成長の支援などを進めています。

一般報告では、千葉県流山市の井崎義治市長の報告がありました。流山市は、つくばエクスプレスの沿線開発により2021年まで6年連続人口増加率全国1位を記録し、緑が失われていく中で少しでも回復できないかが課題でした。そのため、グ

リーンチェーン制度を導入するなど、全ての施策に健康視点を取り入れたまちづくりを推進されてきたとのことです。

他の報告やパネルディスカッションも行われ、大変有意義な会議であり、今後のまちづくりに生かしていきたいです。



市長への予算要望

黒川 輝男 園部 増治
青木 和夫 稲葉 貴大
齊藤由美子

市議会議員補欠選挙結果



さいとう ゆみこ
齊藤 由美子
鴻巣(1期)

令和6年11月24日に行われた市議会議員の補欠選挙で齊藤議員が当選されました。

議場コンサート
出演者募集

「演奏仲間との活動の成果を披露したい」
ぜひこの機会に出演してみませんか

3月・6月・9月・12月の定例会の出演者を募集しています。

○応募資格

市内在住・在勤の歌唱・楽器の演奏ができる人または団体。



詳細は市ホームページもしくは議会事務局まで、お問い合わせください。

◆◆◆ 令和7年 第1回定例会の会期予定 ◆◆◆

日	月	火	水	木	金	土
2/23	24	25	26 本会議 (開会)	27 休会	28 本会議 (質疑)	3/1
2	3 総務常任委員会 産業建設常任委員会	4 文教厚生常任委員会	5 予算特別委員会 (一般会計)	6 予算特別委員会 (一般会計)	7 予算特別委員会 (特別・企業会計)	8
9	10 議場コンサート 本会議 (代表質問)	11 休会	12 本会議 (一般質問)	13 本会議 (一般質問)	14 本会議 (閉会)	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

○開催予定時間は午前10時です。

○産業建設常任委員会の開催時間は午前10時15分です。

※変更される場合もありますので議会事務局までお問い合わせください。

第4回定例会の傍聴者数

本会議	34人
委員会	8人
合計	42人
※傍聴者数は延べ人数	

議会の様子・会議録
を見てみよう！

古河市議会ホームページ、または下記2次元コードからご覧になれます。



議会中継



会議録

編集後記

第83号議会だよりでは、令和6年12月定例会での議決一覧、陳情4件、14人の議員による一般質問や各常任委員会の県外視察報告、各会派活動報告を掲載しております。古河市議会では、24人の議員が古河市のために一生懸命活動しているので、市民の皆さまにはぜひ一度議場に直接足を運んでいただき、議会を傍聴してもらえると非常に嬉しく思いますので、心からお待ちしています。

委員長 印出 慎也

【議会だより編集委員会】

委員長 印出 慎也
副委員長 立川 徹
委員 小林登美子 稲葉 貴大
鶴見久美子

古河市議会事務局
古河市長谷町38番18号
☎0280-22-5111(代)